

平成30年度第2回国立大学法人佐賀大学医学部附属病院
医療安全監査委員会議事要旨

1. 日 時 平成31年2月6日（水）14:30～15:30

2. 場 所 小会議室

3. 出席者

監査委員 奥村委員長，横田委員，鶴田委員

本 学 佐々木監事

本 院 山下病院長，木村医療安全管理責任者，成澤医薬品安全管理責任者，坂口医療機器安全管理責任者，高松医療安全管理室副室長，吉村医療安全管理室副室長，山田副看護部長，田籠医療安全管理室副室長，木村医療安全管理室副室長，田中副MEセンター長，北村放射線部技師長，濱野事務部長，田端医事課長，内藤総務課長，七村医事課専門職，田中医事課課員，井手総務課副課長

欠席 水田医療安全管理室副室長

○議事に先立ち、事務担当から配布資料の説明があった。

4. 議事等

(1) 院内ラウンドについて

田籠医療安全管理室副室長から、資料1により院内ラウンドに関する概要、チェック項目等の説明を行った。

その後、院内ラウンド（3階西病棟）において以下について質疑応答があった。（ステーション、点滴準備室、洗浄室、汚物処理室等をラウンド）

・チェックシートで部署の個人に対しチェックを実施しているのか。

部署の個々人に実施している。

・チェック項目は部署毎に変更しているのか。

部署の特殊性やインシデントの傾向を踏まえて多少変更している。

・モニター類の時刻合わせはどうしているのか。

毎週月曜日に時刻合わせを行うように決めて実施している。

・点滴準備室のシンクの利用について

点滴準備室は清潔領域であり、シンクはあるが洗浄業務には使用していない。洗浄室は別室を設けている。

・病棟に器材等を洗浄する所はあるのか。

ステーション、点滴準備室とは別な場所にある。消毒薬や洗剤などがあるため職員証での認証で入室できるようにしている。

- ・検体等はどこで保管しているのか。
汚物処理室で保管し、メッセージャーが検体を取りに来る。
検体は汚物処理室の冷蔵庫に一時的に保存することもあるが、
原則、一両日中に処分している。

(2) 特定機能病院間相互のピアレビュー（結果）について

田籠医療安全管理室副室長から、以下について説明を行った。

資料2

- I (1) インシデントやアクシデントの報告等の状況
- (2) 医療安全管理委員会の業務の状況
- (3) 医療安全に資する診療状況の把握のためのモニタリング
- (4) 医療安全部門への人員配置等について
- IV 監査委員会業務の結果及び監査委員会からの指摘への対応

木村医療安全管理室副室長から、以下について説明を行った。

資料2

- II (1) 医薬品安全使用体制の状況（医薬品安全管理責任者の業務等）
- (2) 未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の適否等を決定する部門の運用状況

高松医療安全管理室副室長から、以下について説明を行った。

資料2

- III 高難度新規医療技術を用いた医療の提供の適否等を決定する部門の運用状況

その後、以下について質疑応答があった。

- ・ピアレビューはどのように実施されているのか。
訪問、被訪問は同じ大学間で行うのではなく、異なった組み合わせで行っている。特定機能病院間（私大等を含む）で、行っている。
- ・ピアレビュー、厚生局、保健所など、年に複数の調査が行われているのか。
今回の外部調査も含め、年に複数の立入検査や実地調査等が行われている。

- ・インシデント報告事例や疑義照会事例をもとに、医薬品の安全使用に関して、イエローカードなどを介して院内周知を徹底していることや術前中止薬（抗凝固薬等）の休薬情報アプリを開発されたことは非常によいことだと思う。休薬情報アプリは他の医療機関での使用は可能なのか。

現在は本院のみでの使用だが、将来的には他院でも使用できるようにしたいと考えている。

- ・医薬品安全管理責任者の役割が大きくなってきており、薬剤部長は専任職であることが望ましいと考えるとあるが、理想ではあるが可能か。

教授が兼任でいる。

（3）監査委員からの講評について

委員からのコメントは以下のとおりであった。

- ・ラウンドのチェック項目がよくできていることが確認できた。
- ・ラウンドの日時を部署に事前に知らせていないにもかかわらずスムーズに行われ、さらに当該部署の職員が協力的であることが確認できた。
- ・全チェック項目を個人ごとにチェックされており、個人の認識度を確認するにはいい方法だと思われた。
- ・術前中止薬（抗凝固薬等）の休薬情報アプリが公開できたら使用したい。

（4）佐賀大学医学部附属病院医療安全監査委員会について

本外部委員メンバーでの監査は今回で終了するため、委員から以下のとおりコメントがあった。

- ・前回の委員会でもお伝えしたが、インフォームドコンセントのあり方については、わかり易い言葉で伝える等、医療者と患者の両者の安全安心の確保のためにも今後も是非、考慮していただきたい。
- ・最近社会では、これまで到底あり得ないであろうと思われたことが起こり世間を騒がしている事例がみられるが、医療安全においてはそういうことが起こらないよう気をつけていただきたい。
- ・医療安全の良い取り組みに関しては、今後も参考にさせていただきたい。

（5）その他

特になし。